

AudioComm®

●

HM

DSP FMステレオ/AM  
ポケットラジオ

RAD-P2229S  
シリーズ

AM

FM  
ステレオ®

※ステレオイヤホン  
使用時  
※FM補完放送対応

取扱説明書

弊社の  
AudioComm® DSP FMステレオ/AMポケットラジオを  
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくため、  
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
必ず保管してください。

## ラジオ各部の名称

FMロッド  
アンテナ

イヤホン  
端子

メモリー(－)  
ボタン

メモリー(+)  
ボタン

液晶画面

①

②

③

④

選局(+)  
ボタン

選局(－)  
ボタン

音量(+)  
ボタン

音量(－)  
ボタン

スピーカー

電池ボックス  
カバー  
(背面)

①FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン ②設定/スキャンボタン  
③バンド/アラームボタン ④電源/スリープボタン

## ラジオの使い方

- ❶「電源/スリープボタン」を押すと電源が 電源ON表示  
入ります。  
液晶画面が時刻表示→「ON」表示→  
周波数表示になります。

## 安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いい  
ただけます。間違った使い方は火災や感電による事故に  
つながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよく  
お読みのうえ、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告

「死亡または重傷を負う可能性  
が想定される」内容です。

●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、  
火災、けがの原因となります。

●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止  
する。落雷の原因となります。

●車、バイクの運転中はイヤホンでの使用や、細かい  
操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に  
十分注意する。交通事故などの原因となります。

⚠ 注意

「損害を負う可能性または物的  
損害が発生する可能性が想定  
される」内容です。

●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所に  
は置かない。故障の原因となります。

●窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる  
所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に  
置かない。故障及び火災の原因となります。

●イヤホン使用時、耳に負担をかける大音量で聞かない。  
聴力障害などの原因となります。

●電池は、プラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。  
電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因  
となります。

●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池  
を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリ  
とマンガン)と一緒に使用しない。電池の破裂、液もれ  
により火災、けが、周囲汚損の原因となります。

●長期間で使用にならないときは、電池を取り出す。電池  
の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

## 《ラジオ本体のお手入れの仕方》

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、  
水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。  
シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性が  
ありますので使用しないでください。

## 故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

| 現 象   | 点検方法                                                                             |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 音が出ない | ・音量が最小になっていないか確認。<br>・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。<br>・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。 |
| 雑音が入る | ・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。                                                   |

## 電源について

### 乾電池装着の仕方

- ❶ 本体背面の電池ボックス  
カバーのOPEN▼の刻印  
部分を矢印方向に押し下  
げてはね上げます。  
(右図参照)
- ❷ 電池ボックスに、単4形乾電池2本(別売)を入れます。  
電池ボックス内に表示されているプラス⊕、マイナス⊖  
の極性どおりに正しく入れてください。  
※乾電池はマイナス⊖側から先に装着してください。
- ❸ 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めると、装着  
完了です。

※電池を外すと、設定していた時計、アラーム、放送局メモリー  
がリセットされます。  
電池交換時などは、再度設定し直してください。  
※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電  
池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

### 電源についてのご注意

初めてご使用になる場合、乾電池を装着してから可動状態にな  
るまで約5～6秒ほど要することがあります。可動状態になると  
液晶画面の表示が現れます。その後各操作を行ってください。  
可動状態になるまで液晶画面には何も表示されませんが、故障  
ではありません。

## プリセットメモリーの使い方

### ■手動で選局して保存する場合

- ❶「ラジオの使い方・項目❶～❷」  
までの手順で選局します。
- ❷「設定/スキャンボタン」を押すと  
液晶画面にプリセット登録番号が  
約3秒点滅します。  
点滅中に「メモリー(+)ボタン」と「メモリー(－)ボタン」を  
使用して、設定する任意のプリセット登録番号(0～19ま  
で)を点滅させます。
- ❸再度「設定/スキャンボタン」を押すと、設定したプリセッ  
ト登録番号で保存完了です。
- ❹同じ手順でAM/FM各20局までメモリー保存可能です。

### ■自動で選局・保存する場合(ATS)

- ❶「ラジオの使い方・項目❶～❸」  
までの手順でAMかFMを選択し  
ます。
- ❷「設定/スキャンボタン」を約2秒  
長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を  
自動で選局・保存します(AM/FM各20局まで)。
- ※ATS(オートチューニングストレージ)を使用してプリセッ  
ト登録すると、以前のプリセットメモリーは上書き消去され  
ますのでご注意ください。

### ■プリセット登録した局の聴き方

- ❶「ラジオの使い方・項目❶～❹」ま  
での手順でAMかFMを選択します。
- ❷メモリー(+)ボタンとメモリー(－)  
ボタンを使用して、液晶画面に表示されるプリセット登録  
番号より、お聴きになる番号(局)を選んでお聴きください。

## 主な仕様

|                |                                                                                               |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受信周波数          | AM 522～1620 kHz<br>FM 76～108 MHz                                                              |
| メ モ リ ー        | FM/AM各20局(合計40局)                                                                              |
| 電 源            | DC3V 単4形乾電池×2本(別売)                                                                            |
| 電 池<br>持 続 時 間 | スピーカー使用時<br>AM受信 約30時間、FM受信 約28時間<br>イヤホン使用時<br>AM受信 約33時間、FM受信 約31時間<br>※(アルカリ乾電池新品使用、音量中程度) |
| 外 形 寸 法        | 幅57×高さ97×奥行19mm(突起物含まず)                                                                       |
| 質 量            | 約70g(乾電池含まず)                                                                                  |
| 付 属 品          | ステレオイヤホン、取扱説明書、保証書                                                                            |

※仕様及び外觀などは、改良のため予告なく変更することがあります。

## アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明  
書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。  
それでも調子が悪いときは、販売店または弊社修理ご相談  
センターにご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたし  
ます。
- 保証期間が過ぎていても、修理によって機能が維持できる  
場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきます  
ので、販売店または弊社修理ご相談センターにご相談  
ください。

## 時刻とアラームについて

### ■時刻の設定

- ❶電源オフ時に「設定/スキャンボタン」を押します。液晶画面  
に「12(または24)Hr」表示が点滅。「選局(+)ボタン」「選局  
(－)ボタン」で、12⇄24時間表示を選択、「設定/スキャン  
ボタン」を押して決定します(12時間表示の場合、液晶画面  
表示は、午前は表示無し、午後は「PM」と表示されます)。
- ❷次に「時」が点滅、「選局(+)ボタン」「選局(－)ボタン」で、「時」を選択し、「設定/  
スキャンボタン」を押して決定します。
- ❸次に「分」が点滅、「時」と同じ手順で  
「分」を決定します。

### ■アラームの使い方

- ❶電源オフ時に「バンド/アラームボタン」  
を押します。液晶画面に「⌚」を表示。
- ❷「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画  
面の「⌚」と「時」表示が点滅します。  
「時刻の設定・項目❷～❹」の手順でア  
ラーム時刻を設定します。
- ❸次に「rAd(ラジオ)」または「buZ(ブザー)」  
表示が点灯、「選局(+)ボタン」「選局(－)  
ボタン」で2種類のアラームから選択し、  
「設定/スキャンボタン」を押して決定しま  
す。ラジオを選択する場合は「ラジオの使い方」の手順で任意  
の放送局をあらかじめ選択しておいてください(ラジオアラ  
ームは音量VOL.38に自動設定されます)。
- ❹設定時刻にアラームが鳴ります(約5分間)。  
アラームを切るときは「電源/スリープボ  
タン」を押します(アラーム設定は保存さ  
れます)。

## Memo

●HM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735

電話 平日 9：00～17：00  
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話 048-992-3970 平日 9：00～17：00  
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

- ❺アラーム設定を解除するには、電源・オフ  
時に「バンド/アラームボタン」を押します。  
液晶画面の「⌚」が消灯して設定解除  
します。

※電源オンの状態でもアラームは作動します。  
①アラーム音としてブザーを選択している場合→ブザー音に切り  
替わります。  
②アラーム音としてラジオを選択している場合→アラーム設定  
の音量(VOL.38)に切り替わります。  
※通常使用の際は、必ずアラームを解除してお使いください。

### ■スリープタイマーの使い方

- ❶電源オフ時に「電源/スリープボタン」を  
約2秒長押しすると液晶画面に「SLEEP  
90」が表示されます(スリープ時間90分)。
- ❷続けて同ボタンを押すごとに80～10分  
まで10分刻みで設定が可能です。  
設定完了後すぐに電源が入り、設定時間  
が経つと電源が切れます。おやすみタイ  
マーとして便利です。